

点検・評価シート（2）

大和市生涯学習推進計画

（教育委員会所管分）

◆ 評価の基準について ◆

○施策目標の「総合評価」

A評価	施策目標の実現に向けて、期待を上回る結果が表れている。
B評価	施策目標の実現に向けて、期待された結果が表れている。
C評価	施策目標の実現に向けて、期待された結果が表れていない。

○個別目標の方向の「達成度」

A評価	個別目標の進捗状況が、28年度に期待された結果を上回っている。
B評価	個別目標の進捗状況が、28年度に期待された通りの結果になっている。
C評価	個別目標の進捗状況が、28年度に期待された結果を下回っている。

施策目標1 学習による自己充足を図ります

人は学習することで、心身の充足感を満たすことができます。

生きがいを見つけてそれを実現するために学びを必要とし、その学習過程や学習成果によって、自己充足することができます。

施策目標1では、生涯各期、市民ニーズや現代的課題、スポーツや健康、そして芸術・文化・歴史といった、4つの個別目標に基づき市民一人ひとりが学習によって自己充足できるよう、学習機会の提供をします。

■実施計画掲載事業と平成28年度の実績

▼個別目標1—(1) 生涯各期に合わせた学習機会の提供

- 乳・幼児期に対応する学習機会を提供します。
 - ・保護者同士の交流の場や学習機会を提供することによって、乳・幼児と保護者がともに学び、成長できるような学習機会を提供します。
- 青少年期に対応する学習機会を提供します。
 - ・「生きる力」を養うために、生涯にわたって学び続ける意欲や、自らが考え、判断し、行動できる資質や能力を身につける学習機会や体験活動を提供します。
- 成人期に対応する学習機会を提供します。
 - ・心にゆとりを持ち、さらなる自己開発をめざすために、趣味や教養、就労に関する学習、高齢期に向けての生きがい探しや健康づくりのための学習などさまざまなジャンルに対応した学習機会を提供します。
- 高齢期に対応する学習機会を提供します。
 - ・高齢化に伴う新たなライフスタイルに対応した学習機会として、趣味や教養、健康に関する学習機会のほか、生きがいづくりとしてのボランティアや地域活動に活かせる学習機会についても提供します。

(1) 講座等の開催（乳・幼児期）**[担当] 図書・学び交流課**

[事業内容] 乳・幼児期に関する講座等を開催しました。
学級や講座を増やすとともに、交流の場となる
保育室の開放を行いました。



幼児家庭教育学級

[計画と実績]

	H27	H28	H29	H30
市企画運営の乳・幼児 期事業数	計画:44 事業 実績:42 事業	計画:44 事業 実績:43 事業	計画:45 事業 実績:	計画:45 事業 実績:
保育室開放や相談事業 などの事業数	計画:36 事業 実績:39 事業	計画:36 事業 実績:36 事業	計画:37 事業 実績:	計画:37 事業 実績:

(2) 学習団体による学習成果の地域還元（乳・幼児期）**[担当] 図書・学び交流課**

[事業内容] 乳・幼児期の子育て等に関連した市民の学習団体が企画・運営する講座等などに対し、施設の優先予約や企画相談などの支援をしました。

[計画と実績]

	H27	H28	H29	H30
学習団体企画運営の 乳・幼児期事業数	計画:20 事業 実績:21 事業	計画:20 事業 実績:17 事業	計画:26 事業 実績:	計画:26 事業 実績:

(3) 読書活動の推進**[担当] 図書・学び交流課**

[事業内容] 図書館及び保育園などにおいて乳・幼児を
対象としたおはなし会を開催しました。
ブックスタートなど、乳幼児と保護者に本との
出会いや親しむ機会を提供しました。



夏の特別おはなし会

[計画と実績]

	H27	H28	H29	H30
おはなし会の開催数	計画:88 回 実績:88 回	計画:66 回 実績:75 回	計画:88 回 実績:	計画:88 回 実績:
4か月児健診時の図書 の配布 (ブックスタート)	計画:実施 実績:実施(36 回)	計画:実施 実績:実施(36 回)	計画:実施 実績:	計画:実施 実績:

(4) 講座等の開催（青少年期）**[担当] 図書・学び交流課**

[事業内容] 青少年が自主性や協調性を養えるようなさまざまな社会体験や自然体験などができる講座やイベント等を開催しました。



夏休み体験講座
フラワーアレンジメント

[計画と実績]

	H27	H28	H29	H30
市企画運営の青少年期事業数	計画:25 事業 実績:25 事業	計画:25 事業 実績:26 事業	計画:25 事業 実績:	計画:25 事業 実績:

(5) 学習団体による学習成果の地域還元（青少年期）**[担当] 図書・学び交流課**

[事業内容] 市民の学習団体が企画・運営する体験講座や入門講座といった青少年期に対応する講座等に対し、施設の優先予約や企画相談などの支援をしました。

[計画と実績]

	H27	H28	H29	H30
学習団体企画運営の青少年期事業数	計画:5 事業 実績:4 事業	計画:5 事業 実績:1 事業	計画:6 事業 実績:	計画:6 事業 実績:

(6) 青少年の健全育成**[担当] こども・青少年課**

[事業内容] 青少年が自主性や協調性を養えるようなさまざまな社会体験や自然体験などができる講座やイベント等を開催しました。



わくわく冒険隊宿泊研修

[計画と実績]

	H27	H28	H29	H30
ユースクラブが知識や技術を習得するための会議や研修の日数	計画:27 日 実績:26 日	計画:27 日 実績:26 日	計画:27 日 実績:	計画:27 日 実績:

(7)こども体験事業の実施**[担当] こども・青少年課**

[事業内容] さまざまな体験を通して豊かな感性やリーダーシップを養える事業を実施しました。



こども体験事業

[計画と実績]

	H27	H28	H29	H30
公募の青年を中心とした実行委員会による事業の実施	計画:実施 実績:実施	計画:実施 実績:実施	計画:実施 実績:	計画:実施 実績:

(8)講座等の開催（成人期）**[担当] 図書・学び交流課**

[事業内容] 成人期に対応する学習機会として、教養や就労、生きがい探し、健康づくり等をテーマとした講座等を開催しました。

[計画と実績]

	H27	H28	H29	H30
市企画運営の成人期事業数	計画:8 事業 実績:10 事業	計画:8 事業 実績:14 事業	計画:8 事業 実績:	計画:8 事業 実績:

(9)学習団体による学習成果の地域還元（成人期）**[担当] 図書・学び交流課**

[事業内容] 市民の学習団体が企画・運営する人材養成講座や体験講座といった成人期に対応する講座等に対し、施設の優先予約や企画相談などの支援をしました。

[計画と実績]

	H27	H28	H29	H30
学習団体企画運営の成人期事業数	計画:7 事業 実績:21 事業	計画:7 事業 実績:17 事業	計画:7 事業 実績:	計画:7 事業 実績:

(10) 講座等の開催（高齢期）**[担当] 図書・学び交流課**

[事業内容] 高齢期に対応する教養、健康や生きがい、ボランティアなどに関する講座等を開催しました。



シニアセミナー

[計画と実績]

	H27	H28	H29	H30
市企画運営の高齢期事業数	計画:7 事業 実績:8 事業	計画:7 事業 実績:8 事業	計画:7 事業 実績:	計画:7 事業 実績:

(11) 学習団体による学習成果の地域還元（高齢期）**[担当] 図書・学び交流課**

[事業内容] 市民の学習団体が企画・運営する交流事業など高齢期に対応する講座等に対し、施設の優先予約や企画相談などの支援をしました。

[計画と実績]

	H27	H28	H29	H30
学習団体企画運営の高齢期事業数	計画:5 事業 実績:2 事業	計画:5 事業 実績:2 事業	計画:5 事業 実績:	計画:5 事業 実績:

▼個別目標1—(2) 市民のニーズや現代的課題に合わせた学習機会の提供

- 市民のニーズに応える学習機会を提供します。
 - ・変化する市民のニーズを把握し、それに応える学習機会を提供します。
- 社会の要請に合わせた「現代的課題」に関する学習機会を提供します。
 - ・地球環境の保全、国際理解、男女共同参画社会の実現、情報化社会への対応、家庭教育支援など、市民が日々生活する上で知り、理解しておくことが望まれる学習機会を提供します。

(1)講座等の開催		[担当] 図書・学び交流課			
[事業内容] 講座等の実施に際してアンケートや市民を募って企画委員会を実施するなど、市民のニーズを把握し、講座等を実施しました。					
[計画と実績]					
	H27	H28	H29	H30	
アンケート調査の実施回数(講座事業すべてにおいて実施)	計画:175回 実績:177回	計画:175回 実績:181回	計画:184回 実績:	計画:184回 実績:	

(2)講座等の開催 (現代的課題)		[担当] 図書・学び交流課			
[事業内容] 地球環境の保全、国際理解、男女共同参画などの「現代的課題」に関する講座等を開催しました。					
					
環境講座「河畔林のなかで地域の宝物を体感しよう」					
[計画と実績]					
	H27	H28	H29	H30	
市企画運営の現代的課題の事業数	計画:25事業 実績:24事業	計画:25事業 実績:25事業	計画:25事業 実績:	計画:25事業 実績:	


(3)学習団体による学習成果の地域還元 (現代的課題)		[担当] 図書・学び交流課			
[事業内容] 市民の学習団体が企画・運営する環境や平和など、現代的課題に対応する講座等に対し、施設の優先予約や企画相談などの支援をしました。					
[計画と実績]					
	H27	H28	H29	H30	
学習団体企画運営の現代的課題の事業数	計画:29事業 実績:15事業	計画:29事業 実績:18事業	計画:30事業 実績:	計画:30事業 実績:	

▼個別目標1—(3) スポーツや健康に関する学習機会の提供

- スポーツに親しむための学習機会を提供します。
 - ・市民の学習団体が企画・運営するスポーツ講座等を支援することで気軽に参加できる学習機会を提供します。
- 健康を増進する学習機会を提供します。
 - ・健やかに楽しく生きるために、さまざまな健康増進や食について学習する機会を提供します。

(1)講座等の開催（健康を増進する講座等） **[担当] 図書・学び交流課**

[事業内容] 市の企画・運営による食育やスポーツなど健康を増進する講座等を開催しました。



男性の心得～料理のい・ろ・は

[計画と実績]

	H27	H28	H29	H30
市企画運営の健康を増進する事業数	計画:7 事業 実績:5 事業	計画:7 事業 実績:10 事業	計画:9 事業 実績:	計画:9 事業 実績:

(2)学習団体による学習成果の地域還元（健康を増進する講座等） **[担当] 図書・学び交流課**

[事業内容] 市民の学習団体が企画・運営するスポーツ講座など健康を増進する講座等に対し、施設の優先予約や企画相談などの支援をしました。

[計画と実績]

	H27	H28	H29	H30
学習団体企画運営の健康を増進する事業数	計画:25 事業 実績:29 事業	計画:25 事業 実績:25 事業	計画:26 事業 実績:	計画:26 事業 実績:

▼個別目標1—(4) 芸術・文化・歴史に関する学習機会の提供

- 芸術や文化に親しむ学習機会を提供します。
 - ・芸術鑑賞の機会・芸術文化に関する講座など、市民が芸術や文化に親しむ学習機会を提供します。
- 歴史や伝統が受け継がれていくための学習機会を提供します。
 - ・市民が伝統文化を知る機会の充実を図り、歴史や文化が後世に継承されていくための学習機会を提供します。
 - ・郷土資料や文化財・史跡などについては、調査・研究の上で公開・展示といった形の学習機会も提供します。

(1)ギャラリーの貸出(会議室等の貸出)		[担当] 図書・学び交流課		
<p>[事業内容] ギャラリーにおける展示が盛んになるよう、芸術文化にかかる学習団体に働きかけ、より多くの団体の発表の場としました。 またギャラリーの利用に際しては、広報やまと、チラシ配布、ホームページ等を用い、広報周知の支援も行いました。</p> <p>[計画と実績]</p>				
	H27	H28	H29	H30
窓口などにおける説明や働きかけ	計画:実施 実績:実施	計画:実施 実績:実施	計画:実施 実績:	計画:実施 実績:

(2)学習団体による学習成果の地域還元（芸術や文化事業）		[担当] 図書・学び交流課		
<p>[事業内容] 市民等の学習団体が企画運営する音楽会や朗読会などの芸術や文化に親しむイベント等に対し、施設の優先予約や企画相談などの支援をしました。</p> <p>[計画と実績]</p>				
	H27	H28	H29	H30
学習団体企画運営の芸術や文化事業数	計画:31 事業 実績:21 事業	計画:31 事業 実績:27 事業	計画:31 事業 実績:	計画:31 事業 実績:

(3)つる舞の里歴史資料館の運営		[担当] 文化振興課		
<p>[事業内容] 市民が気軽に郷土の歴史や文化を知ることのできる機会として、講座や企画展示を実施し、その周知を図りました。</p> <p>[計画と実績]</p>				
	H27	H28	H29	H30
講座や企画展示の実施	計画:実施 実績:実施	計画:実施 実績:実施	計画:実施 実績:	計画:実施 実績:
さまざまな情報媒体を用いて広く市民に周知	計画:実施 実績:実施	計画:実施 実績:実施	計画:実施 実績:	計画:実施 実績:

(4) 郷土民家園の運営**[担当] 文化振興課**

[事業内容] 市指定の文化財として、郷土民家園を開放します。郷土学習の場となるよう、年中行事・教室・展示などの企画事業を行いました。



郷土民家園

[計画と実績]

	H27	H28	H29	H30
企画事業の開催回数	計画:36回 実績:33回	計画:36回 実績:36回	計画:36回 実績:	計画:36回 実績:

(5) 下鶴間ふるさと館の運営**[担当] 文化振興課**

[事業内容] 郷土学習の場となるよう、企画展・年中行事などの企画事業を行いました。



下鶴間ふるさと館

[計画と実績]

	H27	H28	H29	H30
企画展・年中行事・自主事業の開催回数	計画:20回 実績:15回	計画:20回 実績:14回	計画:20回 実績:	計画:20回 実績:

個別目標1—(1) 生涯各期に合わせた学習機会の提供

[施策の達成度] A

【施策の成果】

・生涯各期におけるさまざまな問題をテーマとして、市民ニーズに応じた学習機会を提供しました。また、事業実施後には、事業の成果の把握に努めました。

【乳幼児期】乳幼児家庭教育セミナー（学級）や子育てネットワーク作りのための保育室開放事業などの事業を実施しました。昨年度と同様に、乳幼児期を対象としたそれぞれの講座受講者等への周知を積極的に進めたことにより、講座の受講者たちが誘い合って別の講座に参加するなどの効果が得られており、その結果参加者数は増加傾向にあります。

また、各講座で企画意図に合わせた評価指標を設け、アンケート等により実施成果を測ったところ、「学んだことを家庭で実践してみたい」「講座を受けて考え方が変わった」など講座の企画意図に沿った意見をいただきました。

保育室開放事業では、昨年度と同様に保護者同士の情報交換や簡単な相談ができるよう、定期的に幼児教育の学識経験者などを招き、保護者や子どもが安心して参加できるような環境を整えました。

参加者のアンケートでは、「状況や月齢が違ってもいろんな人の話が聞けて楽しかった」「参加して気持ちが楽になり大変良かった」といったご意見をいただいています。参加者同士の交流促進、育児に対する悩みの解消、孤立化の予防などの効果が得られ、乳幼児を抱える保護者の心の負担軽減につながる場を提供できていると考えます。

【青少年期】青少年期の子どもを持つ保護者のための児童家庭教育学級（セミナー）のほか、青少年のための体験活動の場を提供しました。夏休みに開催するものづくり講座やボランティア体験講座、自己表現能力を育む講座など、さまざまな機会を提供し、参加者の豊かな感性や社会性を育みました。

特に、学習センターで活動するサークルの会員を講師として夏休みに実施した手品教室では、参加した子どもたちに対し、秋に実施する乳幼児向けのイベントへの参加を呼びかけたところ、複数の子どもたちが学んだ手品を披露したいと参加を希望しました。このように、手品の発表をとおして、表現力や積極性を養うだけでなく、子どもたちの地域参画のきっかけをつくることができました。

これらの講座等をとおして「生きる力」を養うために、生涯にわたって学び続ける意欲や、自らが考え、判断し、行動できる資質や能力を身につける学習機会や体験活動を提供できていると考えます。

【成人期】家庭・地域・職場で活用できる自己開発・能力開発等のための講座を実施しました。また、昨年度に引き続き、学習団体による自主事業の支援を推進したことで、学習団体が実施した事業数やその参加者数は目標値を大きく上回ることとなりました。

移転後の生涯学習センターでは近年、他の学習センターでは実施していなかった夜間の講座や、新施設にある調理室を活用した料理教室などの講座を実施しました。夜間に実施した講座では、募集人数以上の申込みがあり、講座実施後のアンケートの満足度も高いものとなりました。また、料理教室のアンケートでは、「実習はなかなかないので、とてもよい経験になった」「子どもと一緒に作りたいと思った」「お弁当を作る機会が増えた」など施設を活用して効果的な学習機会の提供ができたことが伺える意見がありました。このように、どの講座も満足度の高いものとなっており、民間事業者のノウハウが活かされているものと考えます。

【高齢期】高齢者の生きがいや健康づくりのためのシニアセミナー等、超高齢社会に向け、心豊かなシニアライフに関わる講座を行いました。また、講座終了後に他の事業等と連携し、学習した成果を発揮できる場を設けたことにより、実施後には受講者から「達成感を得られた」などの感想が寄せられ、学習意欲の増加につながりました。

高齢者向けのカメラ講座では、座学の後に、会場近くの公園で実際に撮影をする体験会を実施

しました。森林風景の撮影や写真絵本を出版しているプロのカメラマンの指導や体験談を通して、カメラのノウハウだけではなく自然環境を考える機会を提供することができました。

- ・図書館では、「こども読書力向上プラン」の実施計画の重点項目である「家読」を推進するため、「夏休み図書館チャレンジイズ」「親子 de 調べる学習チャレンジ」、「調べる学習チャレンジ講座」を開催したほか、ブックスタート事業や様々な年齢に応じたおはなし会を図書館や保育園で開催するなど、子どもが本と触れあえる機会を提供しました。
- ・「ユースクラブ」などに対して、子どもが企画から運営まで体験できる機会を提供することで、中学生、高校生、青年と発達段階に合わせて自主性や主体性を育み、さらには仲間作りを通して協調性や社会性を身につけさせることができました。東日本大震災の被災地訪問から事後研修、青少年健全育成大会での活動報告発表までを行う「こども体験事業」など、子どもが様々な体験をすることができる機会を提供しました。

[今後の課題]

- ・学習団体企画運営の青少年期事業数は減少しています。原因としては、学習団体は普段の学習内容を反映した事業を実施しているため、会員と近い年齢層を対象としたものが多く、会員と異なる年齢層を対象とした事業が実施しにくいと認められます。団体への企画の助言や周知に関する支援等を行っていくとともに、青少年期を対象とした事業を行える団体の発掘も必要です。
- ・市主催の講座等を開催するだけでなく、受講者が継続して学習できるよう、ともに学びあう場づくりやサークル等の団体が、自立した活動を行えるよう支援をしていく必要があります。
- ・家庭を取り巻く環境の変化が著しく、家庭教育に関する学習機会の充実が求められていることから、家庭教育に関する活動をしているサークル等の団体の自主性や創造性を育て、実践につなげる支援が必要です。
- ・平成28年11月から新しい生涯学習センターにおいて、指定管理者による運営を開始したことから、これまでの事業内容や学習団体との連携、市が進めている講座企画やその評価方法について、情報共有をしながら、本市の生涯学習推進に向けた調整を行う必要があります。
- ・平成29年からの計画期間とする第3次大和子ども読書活動推進計画「こども読書わくわくプラン」に基づき、子どもの読書活動を支える人づくりをさらに推進し、子どもが本に触れる機会を充実していく必要があります。
- ・おはなし会の参加者数やブックスタートでの配布割合が高い数値を示していることから、これらの事業が子どもの読書活動のきっかけづくりとして広く認知されてきているものと捉え、さらに魅力ある内容で継続していく必要があります。
- ・ユースクラブでは、会員数の増加を図ることができましたが、今後も運営を安定的かつ継続的に進めるよう引き続き会員の確保に努めるとともに、会員ひとりひとりが、子どもに対する指導力の向上を図るための活動プログラムを検討・企画・実施する必要があります。

成果を計る主な指標	単位	計画策定時 (H22)	実績値				最終目標値 (H30)
			H27	H28	H29	H30	
乳・幼児期に対応する講座や教室など事業への延べ参加者数	人	市主催 12,684	14,522	15,041			16,210
		学習団体 5,047	5,325	5,410			11,210
保育室開放や交流事業などの延べ参加者数	人	17,130	20,331	17,679			21,070
図書館や保育園などでのおはなし会の延べ参加者数	人	1,549	1,850	1,989			2,000
絵本を配布した4か月児健診受診者の割合(%)	%	97.5	95.1	99.8			97.5
青少年期に対応する講座や教室など事業の延べ参加者数	人	市主催 1,140	1,453	1,293			1,440
		学習団体 300	85	20			520
ユースクラブの活動日数	日	65	92	90			85
こども体験事業の参加者数	人	—	29	27			定員数
成人期に対応する講座や教室などの事業の延べ参加者数	人	市主催 78	292	470			98
		学習団体 60	1,325	1,619			150
高齢期に対応する講座や教室などの事業の延べ参加者数	人	市主催 222	441	470			370
		学習団体 652	1,200	1,202			730

※上記の表における「市主催」の欄は、指定管理者の運営する生涯学習センターが実施した講座や教室の延べ参加者数も含んで記載しています。

※上記の表における「学習団体」の欄は、市民等で構成される学習団体が実施した講座や教室（市との共催事業を含む）の延べ参加者数を記載しています。

個別目標1—(2) 市民のニーズや現代的課題に合わせた学習機会の提供	[施策の達成度] B
------------------------------------	------------

[施策の成果]

- 市民が社会の急激な変化に対応し、人間性豊かな生活を営むために必要な課題を現代的課題といいます。男女共同参画型社会実現のための講座や、ノーマライゼーションの実現に向けた手話講習会など、さまざまな現代的課題をテーマとした学習機会の提供に努めました。また、市の関係課や関連団体等からの講師派遣や共催事業を実施することで、より専門的かつ実態に則した課題を考える機会を提供することができました。
- 市民への聞きとり調査やアンケート調査の結果などの分析を通じて、地域課題を見つけ出し、その課題解決に向けた講座として、平成27年度から外国人を対象とした「地域リーダー養成講座」を実施しています。複数年度にわたり実施することが課題解決に効果的であるため、2年目に当たる平成28年度は「地域リーダー養成講座～外国人のための日本語力（読む・書く・話す力）アップ編」を実施しました。前年度に実施した同講座の受講者が引き続き参加することで、より高度な内容のものとすることができました。

[今後の課題]

- 平成28年11月から新しい生涯学習センターにおいて、指定管理者による運営を開始したことから、これまでの事業内容や学習団体との連携、市が進めている講座企画やその評価方法について、情報共有をしながら、本市の生涯学習推進に向けた調整を行う必要があります。
- 市民が直面している問題を捉え、講座メニューに反映させるために常に市民とのコミュニケーションを図るよう心掛けるとともに、社会情勢の変化を注視し、情報収集する必要があります。
- 講座の開催にあたっては、動機付けや講座の意図を明確にし、市民に参加を促す必要があります。
- 講座終了後のアンケートの実施や、講座参加者との交流などを通じて市民のニーズを把握することが必要です。
- 市は、様々な分野の現代的課題を業務として扱っています。世間の関心の高い防災や人権の担当課等と連携・共催し、それら担当課の知見を活用して、市民への学習機会を提供する必要があります。

成果を計る主な指標	単位	計画策定時 (H22)	実績値				最終目標値 (H30)
			H27	H28	H29	H30	
アンケートによって把握する参加者の満足度（満足度とは、アンケート回答総数のうち、大変満足・満足と回答した割合）	%	学級講座 61	94	92			90
現代的課題に関する講座や教室などの事業の延べ参加者数	人	市主催 2,358	8,158	7,790			2,510
		学習団体 3,000	1,916	2,560			3,440

※上記の表における「市主催」の欄は、指定管理者の運営する生涯学習センターが実施した講座や教室の延べ参加者数も含んで記載しています。

※上記の表における「学習団体」の欄は、市民等で構成される学習団体が実施した講座や教室（市との共催事業を含む）の延べ参加者数を記載しています。

個別目標1—(3) スポーツや健康に関する学習機会の提供	[施策の達成度] A
------------------------------	------------

[施策の成果]

- 健康維持・増進に関する学習機会を提供し、健やかに楽しく生きるための知識を深め、健康づくりの実践につなげるきっかけを作りました。食事や運動について学ぶ講座だけでなく、薬に関することや認知症について等、テーマを絞った中で地域住民からニーズのある題材を取り上げています。また、実際に体験しながら進めていく講座が多く、「わかりやすかった」「もっと学びたい」などの参加者からの感想から、受講した内容を今後も継続的に実践・学習していく意識を持ってもらえたことが確認できました。
- 移転後の生涯学習センターでは健康につながる講座として、乳幼児期から高齢期まで各世代に合った食育に関する講座を実施しており、高い満足度を得ています。
- 市民の学習団体が企画・運営するスポーツ講座の支援を行い、卓球教室、健康体操や社交ダンスなど、気軽に参加できる学習機会を提供しました。市民のニーズの高さもあり、全体としての参加者数は増加傾向にあります。

[今後の課題]

- 平成28年11月から新しい生涯学習センターにおいて、指定管理者による運営が開始されたことから、これまでの事業内容や学習団体との連携、市が進めている講座の企画やその評価方法について、情報共有をしながら、本市の生涯学習推進に向けた調整を行う必要があります。
- 「健康都市」を掲げる本市では、市民の健康に対する意識の高まりとともに、市や学習団体が開催する健康体操などへの関心が強くなっています。市民ニーズに応じた学習機会を提供するための一つの手段として、学習、団体の活動を広く周知していく必要があります。
- より多くの市民が興味を持って参加できるよう、さまざまな教室やイベントに関する参加者アンケート等を実施して、企画内容を充実させるとともに、広報・周知方法をさらに工夫する必要があります。

成果を計る主な指標	単位	計画策定時 (H22)	実績値				最終目標値 (H30)
			H27	H28	H29	H30	
健康を増進する講座や教室などの事業の延べ参加者数	人	市主催 101	325	369			150
		学習団体 924	1,077	1,069			1,200

※上記の表における「市主催」の欄は、指定管理者の運営する生涯学習センターが実施した講座や教室の延べ参加者数も含んで記載しています。

※上記の表における「学習団体」の欄は、市民等で構成される学習団体が実施した講座や教室（市との共催事業を含む）の延べ参加者数を記載しています。

※市では学習センターでの事業の他に、首長部局が所管するスポーツや健康推進に関わる事業を実施しています。

個別目標1—(4) 芸術・文化・歴史に関する学習機会の提供

[施策の達成度] B

[施策の成果]

- ・各学習センターにおいて音楽公演会、ミニコンサート等の開催や関係団体との共催での事業の実施、また学習団体への支援など、芸術・文化活動の充実を図りました。学習団体が学習成果を発表する場の中では、参加者に対し体験する場を提供することや、発表会前に講習会を開催すること等を助言することで、参加者の生涯学習意欲の促進を図っています。その結果、学習団体の実施する事業数や、その事業の参加者数は増加傾向にあります。
- ・つる舞の里歴史資料館では、さまざまな企画展およびそれに関連した体験型講座のほか、「つるまい土曜講座」を実施し、入館者の増加を図りました。また、つる舞の里歴史資料館・下鶴間ふるさと館両館では、年中行事の展示を市民サークルの協力を得て実施しており、市民の活動成果の発表の場ともなっています。下鶴間ふるさと館で開催される「ふるさと館まつり」は、地域の人々に親しまれています。

[今後の課題]

- ・やまと芸術文化ホールが文化創造拠点シリウスに開館したことから、これを契機として芸術活動や文化活動を行う学習団体の活発化につなげるため、これらの団体と情報共有や連携をしながら、学習センターにおける文化芸術活動をさらに推進していく必要があります。
- ・ギャラリーでの展示開催延べ日数が減少傾向にあるため、団体への支援方法や施設の周知方法など工夫する必要があります。
- ・つる舞の里歴史資料館、郷土民家園、下鶴間ふるさと館の文化財3施設については、年中行事の実施など施設の個性や魅力を伝えるよう努めていますが、入館者数などは年により波があります。今後も、企画内容や展示テーマを工夫していく必要があります。

成果を計る主な指標	単位	計画策定時 (H22)	実績値				最終目標値 (H30)
			H27	H28	H29	H30	
ギャラリーでの展示会開催延べ日数(つきみ野・桜丘・渋谷の各学習センター)	日	703	678	615			740
学習団体が自主的に企画運営する芸術や文化に関する事業(講座や教室などの延べ参加者数)	人	868	1,895	1,944			1,570
つる舞の里歴史資料館で開催する講座の延べ参加者数	人	86	164	152			140
各文化施設の延べ入館者数	人	つる舞の里歴史資料館 6,131	4,691	5,661			6,370
		郷土民家園 74,874	49,861	49,566			80,000
		下鶴間ふるさと館 7,378	6,323	5,989			7,600

[施策目標1に対する評価及び目標達成に向けた施策の展開方針]

- ・学習による自己充足を図るため、生涯各期に応じた学習機会の提供や、現代的課題及びスポーツや健康に関する学習機会の提供に積極的に取り組んでおり、概ね成果が得られています。
- ・各学習センターが主催する講座・教室、また図書館によるおはなし会など、市民のニーズを捉えた、さまざまな年齢層を対象とした事業を実施し、生涯各期に合せた学習機会を提供することができました。
- ・講座などの終了時には、アンケート調査などを実施し、調査結果を踏まえて次回以降の事業に役立てました。
- ・その結果、参加者の知識を深めるだけにとどまらず、受講後の意識変容や、サークル設立への意欲、学習の成果の活用などの意向を確認することができ、継続性を伴った学習機会の提供が図れました。
- ・また、各講座で動機付けや企画意図に沿った指標を設定し、実施後に評価する手法を取り入れて2年目となりましたが、前年度に設定した指標やその成果を活かした事業企画につながっています。
- ・生涯学習センターの休館・移転がありましたが、全体として昨年度と同水準の事業を実施できました。
- ・全体として、学習団体の自主事業への参加者数が概ね増加傾向にあります。特に、成人期に対しての学習団体の自主事業が事業数、参加者数ともに昨年度に引き続き目標値を大きく上回っており、地域の学習団体がその地域の成人期のニーズに合った事業を提供できていると考えます。
- ・一方で、青少年期以下を対象とした学習団体の自主事業への参加者数は減少しています。学習団体の普段の学習内容を反映した事業を実施しているため、会員と近い年齢層を対象としたものが多く、会員と異なる年齢層を対象とした事業が実施しにくいためだと考えられます。このことから団体への企画の助言や周知に関する支援等の対応が必要と考えます。
- ・学習団体が団体の構成員以外の人を対象として開催する講座や教室等は、学習成果の発表の場として、また学習を通じた交流や人との関わりを生み出す場として、重要な役割を持っています。そのため、学習団体が活発に活動できるよう支援するとともに、新たな団体に対して開催を働きかけていくことが重要です。
- ・実施した講座に対する参加者の満足度については、最終目標値の90%を上回る92%となっており、講座等の質は高いレベルで維持されています。市民ニーズを捉え充実した学習機会の提供を図ることができたと考えます。
- ・今後も、引き続き、事業の質的向上を目指し、事業内容の精査や、事業実施後の成果の把握だけではなく、前年度の反省を踏まえて事業を企画・実施し、一層の充実を図る必要があります。
- ・また、指定管理者による運営を開始したことから、これまでの事業内容や学習団体との連携、市が進めている講座企画やその評価方法について、情報共有をしながら、本市の生涯学習推進に向けて調整を行う必要があります。
- ・平成28年度における文化財3施設の入館者数は、秋に実施したつる舞の里歴史資料館企画展の来場者が増加したため、全体としては微増していますが、資料館以外の2施設については、天候等の影響で伸び悩みました。引き続きより魅力ある事業展開に努めるとともに、学校等へのPRを強化するなど、施設利用の促進を図ります。

施策目標2 学習により人と人をつなげ、地域に学習活動を広げます

仲間と共に学ぶことによって、相互のつながりや交流が生まれます。

学びを通して市民が互いに連帯感を深めることができるよう、積極的に支援していくことが必要です。

施策目標2では、情報提供や学習相談による支援、地域での学びを支える担い手への支援、そして地域のコミュニティづくりへとつながる活動や団体への支援といった、3つの個別目標に基づき、自主的な学習活動をより多くの市民に広げていきます。

■実施計画掲載事業と平成28年度の実績

▼個別目標2—(1) 情報提供や学習相談による支援

●生涯学習に関する情報提供の充実によって、市民の学習をより活発にします。

- ・必要としている人に必要とされる情報が届き、学習活動へとつながるよう、体系的かつ効果的な情報伝達をしていきます。
- ・講座の内容や募集方法、施設の場所や利用方法など、さまざまな学習に関する情報提供をしていきます。
- ・催事情報・人材情報・団体情報などについても、各種メディアによる提供を充実させます。
- ・関係施設に関する情報や、民間情報についても積極的に提供するなど、情報を収集・整理し、提供する機能を充実させます。

●学習相談によって、市民の学習をより活発にします。

- ・学習希望者のさまざまなニーズに対応するため、適切・的確な学習相談ができる支援体制を整えます。

(1)生涯学習情報の提供及び学習相談の実施(学習情報収集コーナー) [担当] 図書・学び交流課

[事業内容] 学習情報収集コーナーが学習センターに設置されていることの周知を図り、常に新しい情報を提供しました。

[計画と実績]

	H27	H28	H29	H30
さまざまな情報媒体を用いて広く市民に周知	計画:実施 実績:実施	計画:実施 実績:実施	計画:実施 実績:	計画:実施 実績:

(2) 図書資料の貸出**[担当] 図書・学び交流課**

[事業内容] さまざまな図書資料を幅広く収集し、市民に貸し出し、その学習活動を支援しました。
また、図書館間の相互貸借などにより、利用者が必要とする資料提供を行いました。

[計画と実績]

	H27	H28	H29	H30
図書館の蔵書数	計画:520,000 冊 実績:525,746 冊	計画:532,000 冊 実績:553,905 冊	計画:545,000 冊 実績:	計画:555,000 冊 実績:

(3) 生涯学習情報の提供及び学習相談の実施(生涯学習・社会教育の専門職員の配置)**[担当] 図書・学び交流課**

[事業内容] 市民の学習相談に対応できるよう、さまざまな関連情報を収集整理し、生涯学習・社会教育の専門職員を配置しました。

[計画と実績]

	H27	H28	H29	H30
社会教育主事の配置 人数	計画:12 人 実績:9 人	計画:12 人 実績:5 人	計画:12 人 実績:	計画:12 人 実績:
社会教育指導員の 配置	計画:配置 実績:配置	計画:配置 実績:配置	計画:配置 実績:	計画:配置 実績:

※大和市生涯学習センターは指定管理者の運営のため、教育委員会が発令する社会教育主事は配置されていません。

※大和市生涯学習センターは指定管理者の運営のため、市の非常勤特別職である社会教育指導員は配置されていません。

(4) 図書情報の提供**[担当] 図書・学び交流課**

[事業内容] 図書館のホームページや新着図書の情報提供を充実させ、レファレンス(利用者が必要とする資料や情報を検索・提供すること)業務に活かしました。

[計画と実績]

	H27	H28	H29	H30
参考図書数	計画:31,000 冊 実績:31,200 冊	計画:39,000 冊 実績:31,523 冊	計画:40,000 冊 実績:	計画:41,000 冊 実績:
レファレンス業務	計画:実施 実績:実施	計画:実施 実績:実施	計画:実施 実績:	計画:実施 実績:

▼個別目標2—(2) 人材や団体の育成と活用に関する支援

●学習者や学習支援者、学習団体の育成と活用に関する支援を充実します。

- ・市民の学習活動が円滑に行われるよう学習者や学習支援者、学習団体を支援します。それとともに「知の循環型社会」の構築をめざし、学習の成果を市民の生涯学習の推進に活かします。

(1)社会教育関係団体等の登録及び育成		[担当] 図書・学び交流課		
[事業内容] 地域学習交流事業を推進することで、サークル活動を活発にし、より多くの社会教育関係団体を育成しました。				
[計画と実績]				
	H27	H28	H29	H30
地域学習交流事業を実施する団体数	計画:92 団体 実績:90 団体	計画:92 団体 実績:89 団体	計画:92 団体 実績:	計画:92 団体 実績:

※地域学習交流事業は、制度改正に伴い、支援事業のみを対象とする制度となりました（共催事業は制度対象外となりました）。しかし、実績値比較のため、共催事業実施の団体数も含んで抽出しています。

※大和市生涯学習センターは移転による休館のため、平成28年4月～9月までに地域学習交流事業を実施した団体のみ実績としています。なお、平成28年11月に開館した大和市生涯学習センターでは地域学習交流事業に代わる団体支援事業の検討のため、同年度内では地域学習交流事業は実施していません。

(2)図書ボランティア養成講座の実施		[担当] 図書・学び交流課		
[事業内容] 読み聞かせボランティアを養成するため、スキルに合わせた講座を実施しました。				
[計画と実績]				
	H27	H28	H29	H30
「読み聞かせボランティア養成講座」等の開催回数	計画:13 回 実績:11 回	計画:13 回 実績: 5 回	計画:13 回 実績:	計画:13 回 実績:

※平成28年度においては、図書館の移転等によりブラッシュアップ編及びストーリーテリングの講座の実施を見送りました。

▼個別目標2—(3) 学習による市民相互の交流への支援

- 市民相互が交流し、地域コミュニティを育むことができるような学習活動や学習成果の発表を支援します。
- ・学習による市民相互が交流できる場を充実します。
- 市民の交流機会を創出する学習団体を支援します。
- ・学習成果の発表などによって、交流を創出する学習団体への支援を充実します。

(1)生涯学習センターまつりの実施	[担当] 図書・学び交流課										
<p>[事業内容] 学習センターまつりに利用団体のみならず、地域の団体にも広く参加を呼びかけ、より多くの団体の発表・交流の場としました。</p> <p>また、市民の実行委員会による実施を推進しました。</p>	 <p>大和市生涯学習センターまつり</p>										
<p>[計画と実績]</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr style="background-color: #cccccc;"> <th style="width: 25%;"></th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: left; padding: 5px;">学習センターまつりに参加してもらうための説明会や企画相談等</td> <td style="padding: 5px;">計画:実施 実績:実施</td> <td style="padding: 5px;">計画:実施 実績:実施</td> <td style="padding: 5px;">計画:実施 実績:</td> <td style="padding: 5px;">計画:実施 実績:</td> </tr> </tbody> </table>			H27	H28	H29	H30	学習センターまつりに参加してもらうための説明会や企画相談等	計画:実施 実績:実施	計画:実施 実績:実施	計画:実施 実績:	計画:実施 実績:
	H27	H28	H29	H30							
学習センターまつりに参加してもらうための説明会や企画相談等	計画:実施 実績:実施	計画:実施 実績:実施	計画:実施 実績:	計画:実施 実績:							

(2)学習団体による学習成果の地域還元	[担当] 図書・学び交流課															
<p>[事業内容] 市民の学習団体が企画運営する発表会や展示会等の地域交流型講座等に対し、施設の優先予約や企画相談等の支援をしました。</p>																
<p>[計画と実績]</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr style="background-color: #cccccc;"> <th style="width: 25%;"></th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: left; padding: 5px;">利用者懇談会等で支援システムを説明した回数(5館合計)</td> <td style="padding: 5px;">計画:15回 実績:9回</td> <td style="padding: 5px;">計画:15回 実績:6回</td> <td style="padding: 5px;">計画:15回 実績:</td> <td style="padding: 5px;">計画:15回 実績:</td> </tr> <tr> <td style="text-align: left; padding: 5px;">利用者懇談会等で企画相談について説明した回数(5館合計)</td> <td style="padding: 5px;">計画:15回 実績:9回</td> <td style="padding: 5px;">計画:15回 実績:6回</td> <td style="padding: 5px;">計画:15回 実績:</td> <td style="padding: 5px;">計画:実施 実績:</td> </tr> </tbody> </table>			H27	H28	H29	H30	利用者懇談会等で支援システムを説明した回数(5館合計)	計画:15回 実績:9回	計画:15回 実績:6回	計画:15回 実績:	計画:15回 実績:	利用者懇談会等で企画相談について説明した回数(5館合計)	計画:15回 実績:9回	計画:15回 実績:6回	計画:15回 実績:	計画:実施 実績:
	H27	H28	H29	H30												
利用者懇談会等で支援システムを説明した回数(5館合計)	計画:15回 実績:9回	計画:15回 実績:6回	計画:15回 実績:	計画:15回 実績:												
利用者懇談会等で企画相談について説明した回数(5館合計)	計画:15回 実績:9回	計画:15回 実績:6回	計画:15回 実績:	計画:実施 実績:												

※平成28年度においては、大和市生涯学習センターの移転等により利用者懇談会等を実施しませんでした。

個別目標2—(1) 情報提供や学習相談による支援

[施策の達成度] B

[施策の成果]

- 平成27年度に引き続き、学習情報をよりコンパクトにまとめた「生涯学習支援ガイド」を発行や、「広報やまと」等各種媒体を活用して、継続的に学習情報を提供するとともに、窓口・電話での学習相談を行い、学習を希望する市民の支援に努めました。同じ学習者から次の学習希望の相談が入ることもあり、継続的な学習につながっています。
- 生涯学習センターが移転により一時休館となったため、「学習情報収集コーナー」の利用件数や学習に関する相談件数の実績値は減少しています。
- 学習団体の活動を他の団体や市民の学習の場として広げるため、窓口において、学習団体の活動内容の説明などをきめ細かに行い、積極的に活動を行っている団体の支援に努めました。また、学習団体に対しては発表や体験会、講習会等の企画やPR方法の助言及び支援を行い、市民交流の促進を図ることで、地域に学習活動を広げています。

[今後の課題]

- 新しく開館した生涯学習センターは指定管理者による運営となりましたが、市内4カ所に設置されている地区学習センターの中央館としての役割も持つため、これまで以上に情報共有や連携を密にする必要があります。
- また、情報提供や学習相談の支援においても、直営の地区学習センターとの差が生じないように注視していく必要があります。
- 生涯学習の推進には、学習相談は重要であるため、窓口・電話等での相談を実施していますが、情報提供を含め、効果的な手段を検討する必要があります。

成果を計る主な指標	単位	計画策定時 (H22)	実績値				最終目標値 (H30)
			H27	H28	H29	H30	
施設情報検索を含めた学習情報収集コーナーの利用件数	件	11,618	10,780	8,943			12,500
市民一人当たりの貸出冊数	冊	4.57	4.68	4.64			5.87
学習団体や講座など学習に関する相談件数	件	5,182	3,962	3,650			6,810
レファレンス受付件数	件	206	161	302			300

※平成28年度においては、大和市生涯学習センター及び図書館は移転等によりそれぞれ休館期間があります。

個別目標2—(2) 人材や団体の育成と活用に関する支援	[施策の達成度] B
-----------------------------	------------

[施策の成果]

- ・学習の多様化に伴い、市民による様々な活動が行われています。そうした活動に対する相談等とおして、学習団体の支援を行いました。
- ・生涯学習センターが指定管理者の運営となったため、移転後も移転前と同様の学習者や学習支援者、学習団体の育成と活用に関する支援ができるよう引き継ぎに努めました。その結果、情報提供や学習相談などは移転前と変わらない支援ができています。

[今後の課題]

- ・学習者の高齢化などにより、活動の継続が困難となっている団体が増えています。継続して団体活動が行えるよう相談や支援を推進し、情報提供や学習機会の提供等とおして会員の増加や、新規学習団体の立ち上げを促すとともに、団体活動の活性化や自立に向けた支援策についても検討する必要があります。
- ・学習団体間の交流の活発化を図り、団体内の活動から地域・社会へ広がりのある活動にする必要があります。

成果を計る主な指標	単位	計画策定時 (H22)	実績値				最終目標値 (H30)
			H27	H28	H29	H30	
学習団体の登録数	団体	1,300	1,600	1,532			1,650
「読み聞かせボランティア養成講座」等延べ参加者数	人	260	176	69			285

《参考》読み聞かせボランティア養成講座等延べ参加者数補足資料

講座名	H27	H28	H29	H30
入門編	43	45		
ブラッシュアップ編	49	0		
乳幼児編	50	24		
ストーリーテリング	34	0		

※読み聞かせやストーリーテリング等のボランティア養成のため、受講者のスキルや実際に読み聞かせ等を行う場合の対象者によって講座の内容を変えて、計4種類の読み聞かせボランティア養成講座等を開催しています。

※平成28年度においては、図書館の移転等によりブラッシュアップ編及びストーリーテリングの講座の実施を見送りました。

個別目標2—(3) 学習による市民相互の交流への支援	[施策の達成度] B
----------------------------	------------

[施策の成果]

- ・社会教育関係団体等を対象とした利用者懇談会などの際に、学習団体の交流・発表の場である「学習センターまつり」への参加を促し、市民相互交流の充実を図りました。「学習センターまつり」は多くの団体によって構成される実行委員会形式で開催されており、準備から当日まで、関係する団体の方々が積極的に議論を重ねながら進めることによって、自然に他団体との交流が生まれています。参加団体の方々がいきいきと活動に取り組む姿から、この活動が有意義なものとなっていることが伺えます。
- ・市民による生涯学習社会の実現に向けて、社会教育関係団体等が実施する学習活動を積極的に支援し（地域学習交流事業）、学習による市民と団体との相互交流の推進に努めました。事業の件数は昨年度とほぼ同数ですが、団体の学習活動をきっかけとして参加者が団体に加入するなど、発展的な活動につながっています。

[今後の課題]

- ・社会教育関係団体以外の団体等へも学習活動への参加を働きかけ、学習活動を通じた市民と団体との交流機会を継続して提供していく必要があります。そのためには、多様な学習等が継続して行えるような協体制を整える必要があります。
- ・メンバーの高齢化に伴い運営が困難になる団体が増えるなかで、活動の活性化を図るために市民や他団体との交流を創出するための工夫が必要です。
- ・文化創造拠点シリウスは開館以来、大変多くの方が訪れていることから、複合施設としての利点を最大限に生かし、これらの人々を学習活動への参加を促すような取り組みが必要となります。

成果を計る主な指標	単位	計画策定時 (H22)	実績値				最終目標値 (H30)	
			H27	H28	H29	H30		
学習センターまつり参加団体数 (5館合計)	団体	149	165	162			165	
地域学習交流事業の支援件数	件	生涯各期・現代的課題・芸術文化に関する事業	54	84	82			88
		その他交流事業	39	23	21			45

※地域学習交流事業は、制度改正に伴い、支援事業のみを対象とする制度となりました（共催事業は制度対象外となりました）。しかし、実績値比較のため、共催事業も含んで抽出しています。

※大和市生涯学習センターは移転による休館のため、平成28年4月～9月までに地域学習交流事業を実施した団体のみ実績としています。なお、平成28年11月に開館した大和市生涯学習センターでは地域学習交流事業に代わる団体支援事業の検討のため、同年度内では地域学習交流事業は実施していません。

[施策目標2に対する評価及び目標達成に向けた施策の展開方針]

- ・生涯学習センターの移転に伴う休館の影響から、個別目標の数値に達しない事業が多くありました。
- ・移転先の文化創造拠点シリウスには、多くの来館者が訪れていることから、地域における学習活動の拡大のために、学習活動に関する情報提供、学習実践者及び団体への支援、学習を通じた市民交流の促進に積極的に取り組んでいます。
- ・学習団体の登録や学習センターまつりへの参加について積極的に支援や周知をすることで、学習を通じた市民相互の交流を生み出すとともに、連帯感を強めることができました。
- ・学習センターが行っている、学習団体の事業への支援を積極的に周知したことにより、多くの団体の市民向け自主事業の実施につながっています。
- ・自主的な学習活動をより多くの市民に広げるため、今後も継続して、団体が学習成果を発表できる場を設け、学習の地域還元と市民の相互交流が図れるよう支援していきます。
- ・引き続き、人と人のネットワークづくりに努め、次世代につなげる活動の支援や、地域での学びを支える担い手への支援を行っていきます。
- ・学習情報利用者数や学習相談件数が減少傾向にあるため、社会の変化や市民ニーズ等を捉え、学習相談のあり方を検討していく必要があります。
- ・また、指定管理者による運営が開始したことから、現状の成果や課題など、情報共有をしながら学習相談のあり方を検討していく必要があります。
- ・図書館では、レファレンス業務に活用される参考図書や商用データベースの増加を図り、学習活動の支援に努めました。業務が指定管理者に移行した後も、より高度なレファレンス業務体制の整備に努めます。
- ・生涯学習センター及び図書館が平成28年11月に移転するにあたり、休館時期があったため、一部では数値としては減少しましたが、移転後は、情報提供や学習相談などは移転前と変わらない支援ができています。

施策目標3 学習のための環境や仕組みを整えます

施策目標1・2を達成するためには、学習のための環境づくりや仕組みづくりが欠かせません。そのため施策目標3では、施設の整備と充実、生涯学習を支援・推進する体制の充実、および関係機関との連携推進といった、3つの個別目標に基づき、生涯学習を推進するための基盤を充実します。

■実施計画掲載事業と平成28年度の実績

▼個別目標3-（1）施設の整備と充実

- 学習施設の適切な整備と機能の充実により、快適な学習環境を実現します。
- ・施設の整備を推進するとともに、既存施設の適切な活用を行いながら、機能の充実を図り、快適な学習環境を提供します。
- ・老朽化した生涯学習センターと図書館にかわる新たな生涯学習施設を整備します。

（1）社会教育・スポーツ・文化施設の管理運営

[担当] 図書・学び交流課、こども・青少年課、文化振興課

[事業内容] 適正な施設の維持管理や、速やかな修繕を実施しました。

[計画と実績]

	H27	H28	H29	H30
適切な整備	計画:実施	計画:実施	計画:実施	計画:実施
機能の充実	実績:実施	実績:実施	実績:	実績:

（2）新たな生涯学習施設の整備

[担当] 図書・学び交流課

[事業内容] 多様な学習活動や文化芸術の振興に対応する生涯学習施設が整備されました。



文化創造拠点シリウス

©株式会社エスエス：加藤俊彦

[計画と実績]

	H27	H28	H29	H30
生涯学習施設	計画:建設 実績:建設	計画:完成 実績:完成	計画:提供 実績:	計画:提供 実績:

▼個別目標3—(2) 支援・推進体制の充実

- 行政の専門性を生かして、市民の生涯学習を支援します。
 - ・行政の各部門と連携した生涯学習施策を推進します。
- 学識経験者とともに生涯学習活動を推進する方策の検討を行います。
 - ・生涯学習活動を推進するために、方策の検討を行う各種会議を実施します。

(1)社会教育委員会議の運営

[担当] 図書・学び交流課

[事業内容] 社会教育委員会議(定例会)等を開き、生涯学習の振興のための施策について協議しました。

[計画と実績]

	H27	H28	H29	H30
会議開催数	計画:4回 実績:6回	計画:4回 実績:4回	計画:4回 実績:	計画:4回 実績:

▼個別目標3—(3) 関係機関との連携推進

- より幅広い生涯学習施策を推進するため、学校や市民の学習団体、民間教育機関、個人ボランティアなどとの連携を図ります。
- ・学校との連携を図り、学校施設を生涯学習の場として開放するほか、その教育力を生涯学習に活かします。
- ・民間教育機関、市民の学習団体や個人ボランティアなどとの連携により、その教育力を生涯学習施策に活かします。

(1)学習団体による学習成果の地域還元		[担当] 図書・学び交流課		
[事業内容] 学習団体が学習した成果を市民に還元する機会を増やすために、利用者懇談会や生涯学習推進説明会等で「地域学習交流の実施方法やその意義」について説明しました。				
[計画と実績]				
	H27	H28	H29	H30
利用者懇談会等における説明会数(5館合計)	計画:15回 実績:9回	計画:15回 実績:6回	計画:15回 実績:	計画:15回 実績:

(2)特別教室の開放		[担当] 図書・学び交流課		
[事業内容] 特別教室開放推進委員会を開催し、学校との調整を図りながら、地域の学習の場として特別教室を開放しました。				
[計画と実績]				
	H27	H28	H29	H30
特別教室開放推進委員会会議開催数	計画:2回 実績:2回	計画:2回 実績:2回	計画:2回 実績:	計画:2回 実績:

個別目標3—(1) 施設の整備と充実

[施策の達成度] A

[施策の成果]

- 平成28年11月3日に芸術文化ホール、図書館、学習センター、屋内子ども広場などの複数の機能が融合した新しいタイプの公共施設、「大和市文化創造拠点シリウス」が開館しました。
- 大和市文化創造拠点シリウスの管理運営には、指定管理者制度を活用しており、指定管理者は、利用者の視点に立ったサービスを提供できるよう各施設の管理運営のノウハウを有する企業の集まり（共同企業体）となっています。
- 移転後の生涯学習センターでは、これまでにない個人の利用が可能となりました（スタジオのみ）。開館後多くの登録と利用がされており、新施設では、団体としての活動だけではなく、個人の生涯学習活動を促進する場の提供もできています。
- 開館から約5か月（平成29年3月）で、シリウスの来館者数は累計100万人を超えました。
- 市民が郷土の生活文化に気軽に接することができるよう、歴史的建造物（郷土民家園・下鶴間ふるさと館）の保存と一般公開に努めました。また、シリウス内地域資料コーナーに、これまでつる舞の里歴史資料館で常設展示されていた上野遺跡出土品や土層の剥ぎ取り標本を展示。今後市民が歴史資料に触れる機会が増えることが期待されます。
- 泉の森キャンプ場は天候不順の影響により、昨年度と比べ利用人数が減少しましたが、青少年団体や親子のふれあいの場として活用されました。

[今後の課題]

- 文化創造拠点シリウスは新しいスタイルの公共施設であるため、指定管理者と情報共有を積極的に行い、利用者の視点に立ったサービスを提供できるようさらに検討する必要があります。
- 歴史的建造物は貴重な文化財であるとともに、地域の文化を継承し、郷土愛を醸成するための重要な拠点となっています。保存状態を良好に保つために、計画的な維持管理を行っていく必要があります。

成果を計る主な指標	単位	計画策定時 (H22)	実績値				最終目標値 (H30)
			H27	H28	H29	H30	
社会教育・文化施設の利用件数	件・人	学習センター 37,229	36,758	35,011			44,820
		泉の森ふれあいキャンプ場 14,051	14,959	13,985			14,150
各文化施設の延べ入館者数 再掲	人	つる舞の里歴史資料館 6,131	4,691	5,661			6,370
		郷土民家園 74,874	49,861	49,566			80,000
		下鶴間ふるさと館 7,378	6,323	5,989			7,600
新たな生涯学習施設の整備	—	—	建設	完成			市民に提供

個別目標3—(2)支援・推進体制の充実			[施策の達成度] B				
<p>[施策の成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会教育関係団体等による地域の交流機会の拡大により、学びを通じた交流や地域のコミュニティが生まれています。 ・社会教育委員会議では、核家族化及び地域における地縁的なつながりの希薄化による家庭の教育力の低下に焦点をあて、家庭教育支援について研究をすすめました。 <p>[今後の課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会教育関係団体やボランティア講師間の交流に留まることなく、さまざまな団体による交流が活発に行われることにより、市民が生涯学習を行うきっかけとすることが、今後も求められます。 ・社会教育委員による活動が継続的に行える環境を整え、各委員が積極的な役割を果たすことができるようにする必要があります。 							
成果を計る主な指標	単 位	計画策定時 (H22)	実績値				最終目標値 (H30)
			H27	H28	H29	H30	
審議した案件数	件	社会教育 委員会議 5	6	6			6

※審議した案件

- ①平成28年度社会教育関係団体への補助金について
- ②社会教育委員の活動について
- ③教育委員会点検・評価（案）について
- ④平成28年度社会教育委員会議から選出する委員について
- ⑤平成28年度社会教育委員に関する研修会等について
- ⑥大和市子ども読書活動推進計画こども読書わくわくわくプランについて（諮問）

個別目標3—(3)関係機関との連携推進	[施策の達成度] B
---------------------	------------

[施策の成果]

- ・地域学習交流事業を積極的にPRしたこともあり、前年度に引き続き多くの団体が自主事業を実施しています。
また、例年実施している団体の中には、昨年度の反省から工夫をこらし、より質の高い地域還元活動を行っている団体もあります。
- ・青少年指導員連絡協議会の各部会を開催するとともに活発な地区活動を展開し、地域で青少年健全育成に取り組みました。

[今後の課題]

- ・今後も、継続して学習団体が自主事業を行えるよう、より地域学習交流事業の活用をより積極的にPRし、支援していくことが必要です。
- ・より多くの地域住民に学習団体の学習成果が還元されるよう、企画等の様々な助言を積極的に行っていくことが必要です。
- ・より幅広く生涯学習施策を推進するためには、学習団体だけでなく、青少年指導員など地域で活躍する団体との連携が不可欠となります。しかしながら、高齢化やライフスタイルの多様化により、これらの団体でも新たな人材の確保が困難な状況となっています。
- ・地域での学習活動をより活性化するため、学校や地域の教育関係団体との連携強化、またボランティアの活用及び支援なども必要です。

成果を計る主な指標	単位	計画策定時 (H22)	実績値				最終目標値 (H30)
			H27	H28	H29	H30	
地域学習交流事業を実施する学習団体数	団体	72	90	89			92
特別教室開放を実施している学校数	校	6	9	9			28
青少年指導員の活動延べ日数	日	456	422	428			460

※地域学習交流事業は、制度改正に伴い、支援事業のみを対象とする制度となりました（共催事業は制度対象外となりました）。しかし、実績値比較のため、共催事業実施の団体数も含んで抽出しています。

[施策目標3に対する評価及び目標達成に向けた施策の展開方針]

- ・個別目標達成に向け、積極的に取り組んでおり、概ね成果が得られています。
- ・文化創造拠点シリウスの開館により、生涯学習センター及び図書館では学習施設の機能が充実し、快適な学習環境を実現しました。
- ・文化創造拠点シリウス以外の学習センターも整備を推進し、快適な学習環境となるよう努めています。
- ・学習団体の学習成果を市民に還元する機会を増やすために、利用者懇談会や生涯学習推進説明会等で「地域学習交流の実施方法やその意義」について説明しています。
- ・その結果、引き続き多くの学習団体が自主事業を実施しています。
- ・市の社会教育について学識経験者や学校教育、社会教育などに携わる方々が協議する社会教育委員会会議や、学校の特別教室の運営について協議する特別教室開放推進委員会会議などの各種会議により社会教育や生涯学習活動を推進する方策の検討を行っています。
- ・幅広い生涯学習施策を推進するため、民間教育機関や市民の学習団体、個人ボランティアなどに講師や運営協力を依頼し、事業を実施することで、その教育力を活かしています。
- ・学びにより充実感を得て、地域に学習活動を広げていくためには、学習のための環境や仕組みを整え、それを周知していく必要があります。
- ・学習活動を支援し、推進するためには、学校や市民の学習団体との連携と協力が必要です。青少年指導員などの協力により、地域における人とのつながりを広げていくことができました。
- ・学校との連携を図り、地域における学習の場として、多くの方に特別教室を開放しています。今後も、特別教室開放推進委員会や協働事業を行っている団体との連携を図り、より利用しやすい環境を整えます。
- ・地域を基盤とした組織や団体の活動は、市民交流の促進や地域コミュニティの形成につながることから、活動を継続的に支援し、住みやすいまちづくりを目指します。